

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-108	小学校	国語科	国語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	国語 511 国語 512	ひろがる言葉 ひろがる言葉	小学国語 小学国語	五上 五下

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



私たちは、言葉のなかに生きている

子どもは言葉のなかで成長していきます。

子どもが「言葉」と出会い、その「言葉」がさらに新しい「言葉」との出会いを生みだしていく。

学びは子どもの世界を広げ、生きる力を育みます。

1
「学び」が
見える

2
「学び」が
わかる

3
「学び」が
生きる



「学びたい！」を全ての子どもたちに。
三つの願いがこの教科書にこめられています。

特色

1 学ぶことを楽しめるように —— 「学びが見える教科書」

子どもたちが楽しみながら学ぶためには、学習の目標を知り、見通しを立てたり振り返ったりして、学びの道筋を見つけることが必要です。こうした学習を積み重ねることで、子どもたちの学びが深まり、学ぶ楽しさが生まれます。

特色

2 学び合いを深められるように —— 「学びがわかる教科書」

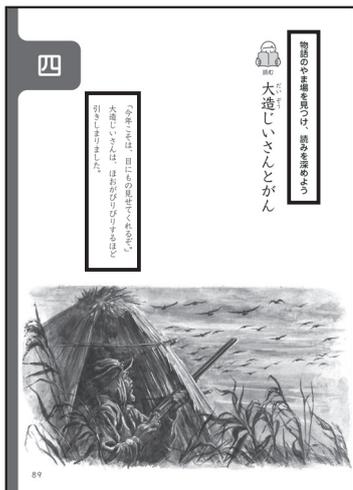
子どもたちが主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがなければなりません。子どもたちが、仲間と対話を重ね、協働して学びを深めていく。学ぶ楽しさを実感しながら、何のために、何を学んでいるのかを自覚することで、学習が深まります。

特色

3 学びで世界を広げられるように —— 「学びが生きる教科書」

子どもたちは知らなかったことを新たに知ることが大好きです。国語科で学んだことを他教科の学びや実生活に生かしていくことで、子どもたちの世界が広がります。学んだことが活かされていくなかで、子どもたち一人一人の、未来を切りひらく言葉の力が育まれていきます。

1 学ぶことを楽しめるように — 「学びが見える教科書」

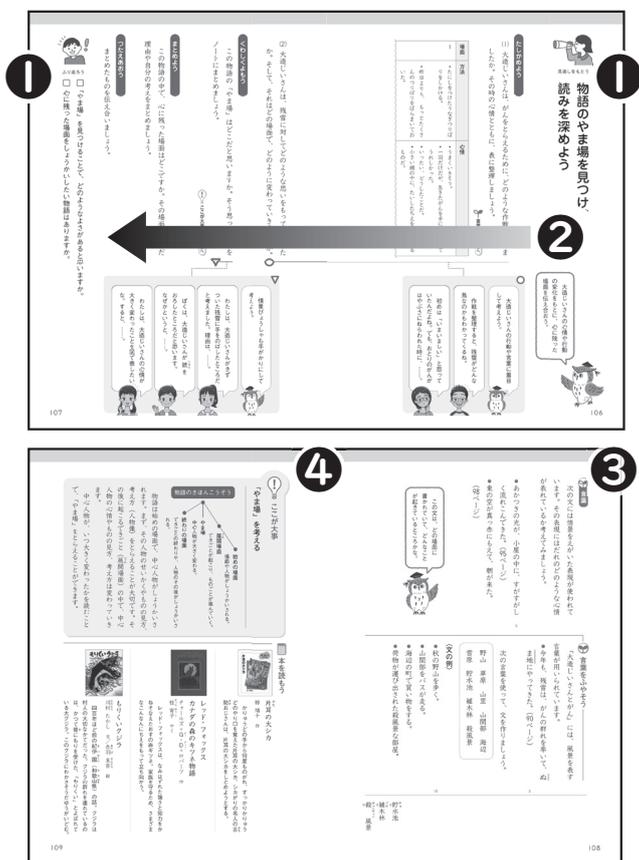


教材とのわくわくする出会いへ誘う「学びの扉」

- 学習のめあてと、子どもの「読みたい」という**意欲を喚起**する一文を示しました。子どもたちの教材への期待感が高まり、学びの扉が開かれます。
- 単元の初めに、どのようなことを学習するのか、めあてを確認することで、学びへの意欲が高まります。
- **学習への期待感**を高める文とイラスト・写真などにより、子どもたちを学びの世界へ誘います。

五上 p89『大造じいさんとがん』単元扉

学び方が見える、子どもたちが見通しをもてる「学習のてびき」



- ① 学習のめあてと振り返りを照応させることで、**学習の大きな流れ**がつかめます。めあての下には、どのような言語活動を通じて学ぶのかを明示しています。

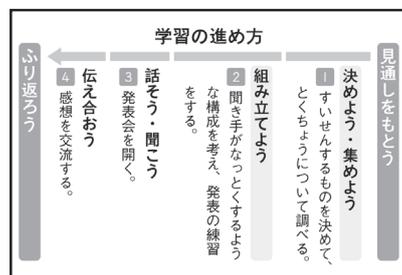
学習のめあてでどのようなことを学ぶのかを明確にし、この教材で学んだことがどのようなことだったのか、指導事項と言語活動の二つの観点で振り返ります。

- ② 学習指導要領の4ステップをもとに学習内容が示されています。下段には、学習を支えるさまざまなツールや例が示され、子どもが**学習を進めるためのガイド**となっています。
- ③ 二見開きめには、文法的な視点から読みを深める問いと語彙の拡充を意図したコーナーを設置しています。
- ④ 汎用性のある学習のポイント「ここが大事」や、読書へのいざない「本を読もう」により、**学習を実生活へ広げ**ることができます。

五上 p106『大造じいさんとがん』てびき

学習ステップが見える「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

- 学習指導要領に基づいた学習ステップを設定しています。見通しをもって、子どもたちは学習に取り組めます。
- その教材における重点指導事項に該当する学習ステップが強調して示されており、子どもが**学びの重点を意識**しながら活動を進めることができます。

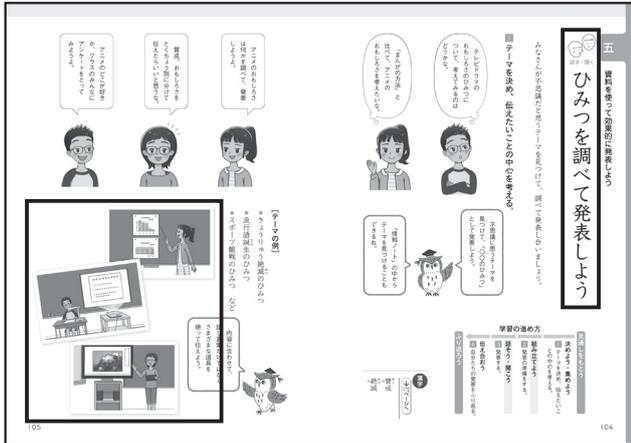


五上 p58『すいせんしょう「町じまん」』

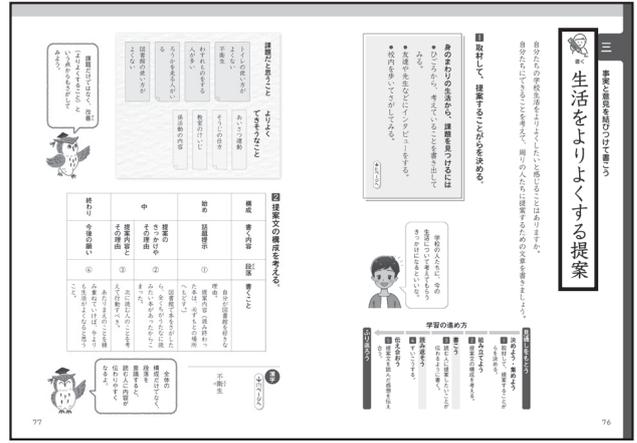
2 学び合いを深められるように — 「学びがわかる教科書」

子どもたちの身のまわりにある課題に、共に向き合う教材

- 子どもたちにとって**取り組む必要を感じられる課題**に向き合うことにより、主体的に課題を解決しようという意欲をもって学習に取り組むことができます。
- 多様で活発な言語活動に取り組める教材を設定しました。日常のさまざまな場面で**生きてはたらく言葉の力**を養います。
- こうした学習を通じて、子どもたちは、論理的に思考し説得力のある文章やスピーチにまとめる力を高めることができます。他者と協働・協調して、変化の激しい時代を生き抜くための**言葉の力を育む**ことにつながります。



五下 p104『ひみつを調べて発表しよう』

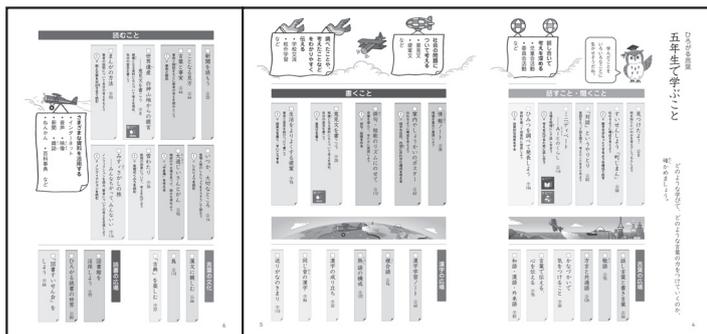


五下 p76『生活をよりよくする提案』

言語活動の具体的な場面を、イラストや図版でわかりやすく示しています。子どもたちは、それぞれのステップでどのように活動すればよいかのかわかり、**楽しみながら学習**を進めることができます。

3 学びで世界を広げられるように — 「学びが生きる教科書」

言葉の学びが実感でき、生きた言葉の力が身につく



五上 p4『ひろがる言葉 五年生で学ぶこと』



上：五上 p4『ひろがる言葉 五年生で学ぶこと』

右下：五上 p128『ひろがる言葉 つながる ひろがる』

左下：五下 p134『ひろがる言葉 これまで これから』

- 学びの主役は子どもです。子どもは、教科書を通じてさまざまな言葉と出会い、確かな言葉を使えるようになるための「言葉の旅」をしていきます。
- この教科書では、子どもたちが日常の生活を営むうえで必要な言葉の力を育むよう、知識・技能や各領域の学習が設定されています。子どもたちは、言葉の学びを実感しながら、他教科の学習など**実生活に生きる言葉の力**を身につけていきます。
- 各巻の冒頭にある『ひろがる言葉 五年生で学ぶこと』で、どのようなことを学習するのか見通せます。
- 巻末には、どんなことを学んだのか、また、学んだことをどのように生かすことができるのか、アウトプットする活動を設定しています。子どもは、学んだことや身につけた言葉の力に気づき、**実生活に生かしている**という意欲を高めます。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所（頁）
漢字の広場①～⑥ 言葉の広場①～⑥ 新聞を読もう 情報ノート 読書の広場 図書館を活用しよう (インターネットでけんさくしよう)	言葉や漢字に関する教材や、情報探索・読書体験を中心とした読書に関する教材などを通して、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	上 32 - 37 上 38 - 39 上 77 - 78 上 79
すいせんしょう「町じまん」 「対話」というやりとり ミニディベート —— A I とのくらし ひみつを調べて発表しよう	調べたことを発表したり、話し合ったりして、説得力のある順序立てや相手の反論を想定して意見を組み立てることで、自ら調べ、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	上 58 - 61 上 82 - 85 上 116 - 121 下 104 - 109
水平線 はたはたのうた などの詩教材	問の取り方や強弱などに気をつけて詩を読んだり、友達と声を出し合い、聞き合ったりすることで、豊かな情操を培うようにしました。〈第1号〉	上 10 - 11 下 75 など
大造じいさんとがん	豊かな情景描写のもとに描かれた狩人とがんの知恵比べを読むことにより、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。〈第1号〉	上 90 - 109
みすゞさがしの旅	埋もれた詩人金子みすゞ発見のノンフィクションを味わうことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	下 114 - 133
ことなる見方 言葉と事実	受け手によって同じ言葉が異なる受け取り方をすることや、事実と表現との違いに注意することが必要であることを知ることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	上 44 - 45 上 46 - 55
まんがの方法	日本のまんが特有の表現方法を理解し、表現について考えることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うようにしました。〈第1号〉	下 90 - 103
いつか、大切なところ	転校した男の子が、もといいた学校の友達に再会した時に感じた孤独感と、新しい学校でできた友達とのつながりから、新しい学校を自分の居場所として受け入れる心理を読むことを通して、自主及び自立の精神を養うようにしました。〈第2号〉	上 14 - 31
「図書すいせん会」をしよう	新聞やポスター、ポップ、リーフレットなどを作成する活動を通して、自他を敬愛し、社会に積極的に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。〈第3号〉	下 66 - 69
案内やしょうかいのポスター 生活をよりよくする提案	身のまわりのものや行事をポスターに書いたり、自分たちの生活をよりよくする目的で、提案する文章を書いたりする活動によって、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うようにしました。〈第3号〉	上 62 - 65 下 76 - 81
世界遺産 白神山地からの提言 ——意見文を書こう	世界自然遺産に登録されている白神山地について、さまざまな情報を読んで考えを深め、意見文を書くことにより、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うようにしました。〈第4号〉	下 8 - 19 下 20 - 21
雪わたり	きつねと子どもたちの交流を通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を育てるようにしました。〈第4号〉	下 36 - 65
漢文に親しむ 鳥	人口に膾炙した漢詩や論語の一節を、声に出して読み味わったり、昔から物語や詩歌に登場してきた鳥をテーマに、関連する作品を調べ、集めたりすることで、現代にも通ずるものの見方を知り、伝統と文化を尊重する態度を養うようにしました。〈第5号〉	上 66 - 69 上 110 - 111
「古典」を楽しむ 日本の伝統芸能	『竹取物語』や『平家物語』などの古典文学、能や狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎などの伝統芸能の魅力にふれ、わが国の伝統と文化に親しみ、それを育んできたわが国と郷土を愛する態度を養うようにしました。〈第5号〉	下 22 - 27 下 28 - 29
短歌・俳句のリズムにのせて	俳句や短歌を作る活動を通して、伝統的な言語文化に親しむことで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛する態度を養うようにしました。〈第5号〉	上 112 - 115

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習・指導への配慮

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

特別支援教育への配慮

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、学びのステップを常に確認できるように、「学習の進め方」の欄を設け、児童が学習の見通しをもち、本時で何を学習するかがわかるように配慮しています。

カラーユニバーサルデザイン

色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。

教科書体・硬筆体

活字は、文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、力強い教科書体を用いました。また、巻末の漢字一覧で掲出している硬筆体は、書写教科書の筆者の字を使用し、学習上の関連を図っています。



オリジナルフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインに配慮したオリジナルフォントを使用しています。

小中の接続

第5・6学年では、中学校国語との接続も意識し、学習事項のいっそうの焦点化・重点化を図った単元や教材の構成も取り入れています。

交ぜ書きの回避

熟語の形で提出したほうが定着しやすいものは、過度な負担とならないよう考慮しながら、上位学年の漢字であっても適宜振り仮名を使用し、違和感のある交ぜ書きをできるだけ避けるように配慮しています。

デジタル機器を使用した学習への配慮

「まなびリンク」との連動

紙面上の二次元コードを通じた、ウェブサイトや学習時に参照できる資料等により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。(例：児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等)



タブレットPC等の活用

発達段階に応じた、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。[下巻 p104 『ひみつを調べて発表しよう』など]

デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容で特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書(教材)を発行します。

造本・装丁での配慮

製本

製本は、長期間の使用に耐える堅牢な方式を採用しています。

表紙・用紙・印刷

表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングを採用、紙は軽量ながら裏移りのない再生紙を使用、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。

カリキュラム・マネジメントへの対応

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟な扱いが可能なよう配慮し、他教科の学習を支えることができるよう考慮しています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることは、実生活で生きてはたらく言葉の力を育むことにつながります。[上巻 p62 『案内やしようかいのポスター』など]

その他

上下巻2分冊構成

児童の身体の発達状況を考慮して、1冊あたりの重量が軽い上下巻2分冊の教科書にしています。半年ごとに新しい教科書に出会い、気持ちを新たに学習に取り組むことができます。

人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストや図版も含め教科書内の表現に配慮しています。

ESD・SDGsへの取り組み

現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育むことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。[上巻 p116 『ミニディベート — A I とのくらし』、下巻 p8 『世界遺産 白山山地からの提言—意見文を書こう』など]

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-108	小学校	国語科	国語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	国語 511 国語 512	ひろがる言葉 ひろがる言葉	小学国語 小学国語	五上 五下

1. 編修上特に意を用いた点や特色

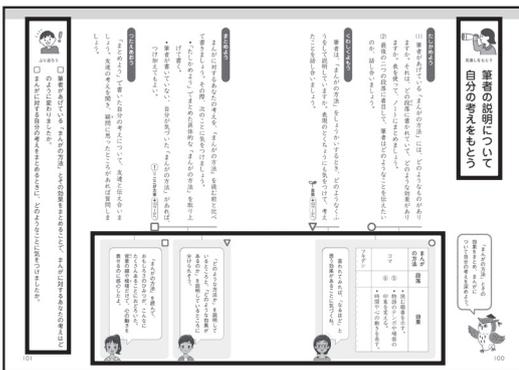
特色

1 学ぶことを楽しめるように —— 「学びが見える教科書」

何を学ぶのか、どう学んだらよいか分かる、機能的な紙面

- 「見通しをもとう」から「ふり返ろう」までが、一本の線でつながっていることで、どんな学習をして、どんな力がつくのか、子どもが自覚しながら学習に取り組むことができます。
- それぞれの紙面の中の情報が、どの学習場面で活用できるのか、明確に関連づけられています。

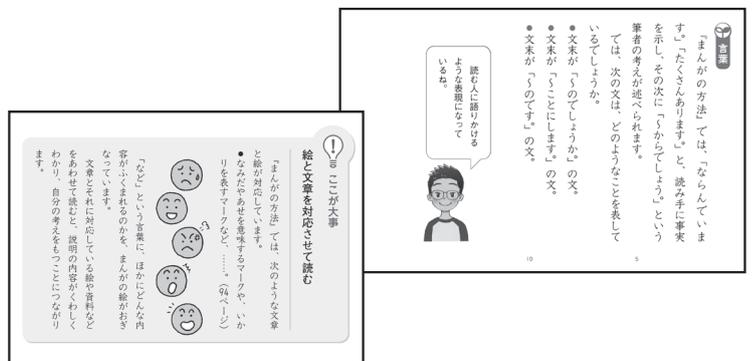
「読むこと」教材「てびき」



五下 p100 『まんがの方法』 てびき

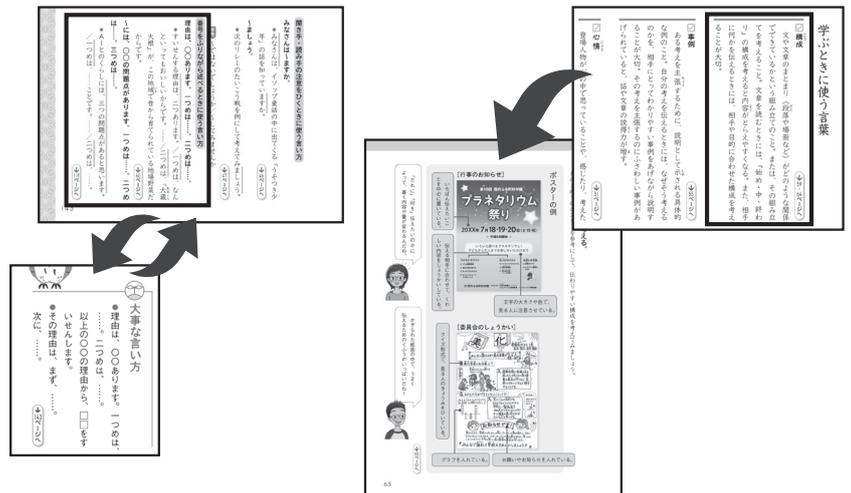
- てびき一見開きめにめあてと振り返りが示されており、その教材で何を学習するのかが端的につかめます。
- めあてには、どのような言葉の力をどのような言語活動を通して学習するのかが明示されています。
- てびき下段には、上段の学習活動を支える、思考ツールや図解、子どもの反応例などを掲載しています。これらにより、子どもたちの主体的・意欲的な学びを支援します。

- その教材の学習の重点をまとめた「ここが大事」や、文法的な知識や考え方をを使って読みを深めることができる「言葉」を、てびきの学習活動に生かすことができるよう、必要に応じて対応を示すマークをつけています。



「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

- 文型・句型や学習用語などの汎用的な知識は、巻末に一覧で示し、他の学習場面でも生かせるようにしています。
- 体系的なまとめと、実際の使用場面とを行き来しながら、双方向でそのはたらきや効果を確かめ合うことができます。



左：五上 p143 『「大事な言い方」を確かめよう』
五上 p61 『すいせんしょう「町じまん」』
右：五上 p141 『学ぶときに使う言葉』
五上 p63 『案内やしようかいのポスター』

2 学び合いを深められるように ――「学びがわかる教科書」

「主体的・対話的で深い学び」が実現できる教材

- 言葉の力を着実に高めるため、指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱えるように教材を配置しています。
- 子どもたちは、さまざまな教材を通して、多様な言葉と出会い、言葉の力を育みながら、「言葉の旅」を続けます。

「思考力・判断力・表現力等」の教材について

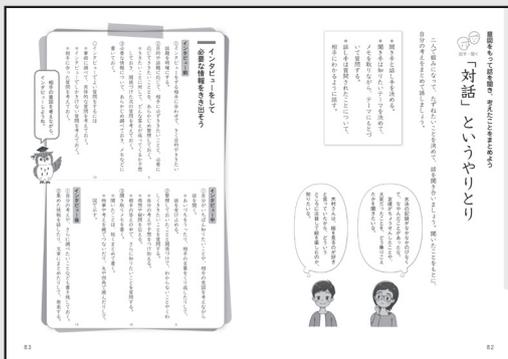


「話すこと・聞くこと」教材

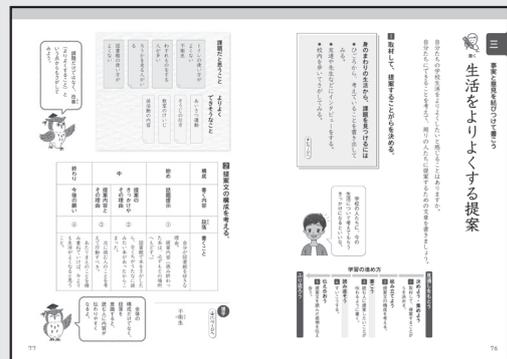


「書くこと」教材

- 日常生活や学校生活に関連した題材を設定し、児童の実生活に結びついた活動になるようにしています。また、目的意識や必然性・必要感を重視した教材を設定し、児童の学習意欲が持続するようにしています。
- 単元教材は、学習指導要領に対応した学習ステップが示され、児童が学習のどの段階にいるのかがわかるようになっています。取り立て小教材では、身につけたい力に特化した学習が行えます。



五上 p82 『「対話」というやりとり』



五下 p76 『生活をよりよくする提案』

- 「話すこと・聞くこと」では、四系列「日常化を図る系列」「スピーチ系列」「話し合い系列」「説明・報告系列」を設定し、系統的な学習ができるようにしています。
- 「書くこと」では、五系列「日常化を図る系列」「課題追究、論理的に書く系列」「自己を表現する系列」「実用的な書くことの系列」「創作活動の系列」を設定し、系統的な学習ができるようにしています。
- 目的がはっきりした実用的な文章から、自分の心と向き合う自己を表現する文章まで、多様な文種にふれられるようにしています。



「読むこと」教材

〈説明的文章〉

- 学年にふさわしい話題・題材を選び、系統化を図っています。また、説明するということへの認識を深め、説明する力が養えるよう、説明の展開の仕方を単純なものから複雑・高度なものへと、段階的にふれられるように配慮しています。
- 三系列「正確に読み、説明内容を実感をもって捉える系列」「論理を考え、思考力を高める系列」「情報を生かして調べ、交流する系列」を設定しています。

〈文学的文章〉

- 新たな言葉の世界と出会い、読む楽しさを味わうことのできる作品を選定しています。また、作品を読み深めることを通して、自分自身について考えたり、他者との関わり方や、自分を取り巻く社会に目を向け、人としての生き方について学んだりすることができるような作品を、各学年に取り入れています。
- 四系列「登場人物と対話し想像を広げる系列」「命・平和について考える系列」「読書の世界に広げる系列」「作品と向き合い考えを深める系列」を設定しています。



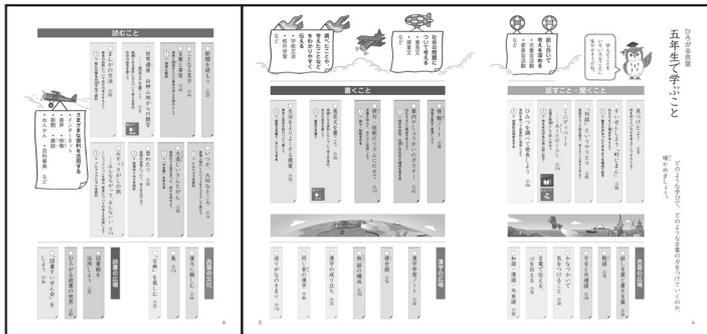
五上 p43 『言葉と事実』



五上 p13 『いつか、大切なところ』

3 学びで世界を広げられるように —「学びが生きる教科書」

学んだことが生かされた！と実感できる「ひろがる言葉」



五上 p4『ひろがる言葉 五年生で学ぶこと』



- 教科書巻頭には、『ひろがる言葉 五年生で学ぶこと』を設け、どんなことを学ぶのか、どんな国語の力が身につくのか、**一年間の学習の見通し**をもてるようにしました。
- 他教科や実生活で生かせる言葉の力**を示し、国語という教科にとどまらない、「生きてはたらく言葉の力」の学びを意識できるようにしました。
- 教材の題材には、他教科や実生活で生かせるものを多く取り上げています。**必然性のある学び**は、一人一人の言葉の力の定着を促します。
- 上巻・下巻、それぞれの巻末に**学習したことを振り返る機会**を設けています。上巻では、どのような言葉の力がついたのか、下巻では、どのように学んだのかという観点で振り返り、その後の学習への意欲を高めます。



五下 p134『ひろがる言葉
これまで これから』



五上 p128『ひろがる言葉
つながる ひろがる』

■検討の観点と内容の特色



検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
①教育基本法	*教育基本法や学校教育法の理念を踏まえ、現代の諸課題に言葉の教育という側面からこたえ、新たな時代を切りひらいていくことのできる児童を育てることを主眼としています。
②学習指導要領	*学習指導要領の教科の目標達成のため、国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養います。系統的な学習を意図して単元のねらいを明確にし、言葉による見方・考え方はたらかせて、児童が自ら学び、自ら考える力を身につけられるように配慮しています。
2 教科書の構成と内容	
①全体の構成・配列	*指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱い学力向上を図った指導ができるように、体系的な単元構成を意図しています。 *教材は、系統の展開をおさえながら、学年の発達段階や時数に応じた構成にしています。 *各学年の配当時数、発達段階、教材間の連携をふまえて、無理のない数の教材配列を設定しています。
②教材選定	*以下のポイントを考慮した教材選定を行っています。 「不易」と「流行」/豊かな人間性・社会性/多様性への理解/生命の尊重/科学的・論理的な考察/環境教育・自然保護/国際協調や平和/豊かな情操/心の発達/安全・安心・防災/郷土や地域を愛する心/勤労の意義とものづくり/食育/先達の言葉や生き方にふれる/情報活用/プログラミング的思考/メディアリテラシーへの配慮
③他教科等との関連	*話題・題材や言語活動など、多様な観点から、他教科の学習で活用できるように配慮しています。 *カリキュラム・マネジメントへの対応として、表現に関する教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟に取り組むことにより、他教科の学習を支えることができるよう考慮されています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実生活で生きる言葉の力を育むことにも通じています。 社会科 ：「話すこと・聞くこと」話し合い・討論の系統/「書くこと」意見文の系統 生活科・理科 ：「書くこと」の各単元（記録文・報告文） 理科および社会科・総合 ：説明的文章 道徳 ：教育基本法や学校教育法への対応を踏まえ、生命・平和・友情・福祉・環境・公共・心の発達などに関わる話題・題材を取り上げています。

④学習の系統性の重視	<ul style="list-style-type: none"> *生きてはたらく言葉の力を育てる言語活動を開発し、各学年に系統的に位置づけています。 *知識・技能、思考力・判断力・表現力等の学習が、バランスよく学期の中に位置づけられるように配慮しています。また、全単元に、その単元の学習目標・学習のめあてや、学習の手だてを明示し、学習の系統化や重点化を図っています。
⑤学習過程の明確化	<ul style="list-style-type: none"> *単元学習において、具体的な言語活動を児童がわかるように目標として設定し、学習の展開や段階を明示して見通しをもちやすくしたり、重点化を図って取り立てたりするなど、学習を可視化しています。
⑥言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> *課題をふまえ、次のような観点から言語活動を設定しました。 課題を解決するために必要な、思考力・判断力・表現力等を身につけることのできる言語活動。 言語や言語活動に関する意識を育て、基礎的・基本的能力を習得する言語活動。 児童が自ら課題を捉え、追究し、日常の言語生活に活用することのできる言語活動。 児童の関心・意欲を契機とする、学習活動の展開の工夫。 豊かな言語生活への展開を志向する、学習の生活化・総合化の工夫。 *必然性が高く、かつ必要とされる言語活動については、他教科での学習内容も視野に入れながら、学校内、地域など、社会に広がる活動も適切に配置しています。
⑦読書生活の基盤	<ul style="list-style-type: none"> *各教材、各学習のさまざまな段階から、読書へと発展させることができるようにしています。 *学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図るための情報活用教材を、発達段階を考慮しつつ各学年に設けています。また、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うことができるように、図書紹介を中心とした交流活動を行う読書交流教材を全学年にわたって設けています。夏休み前に、読書生活の充実を図ることを意図した教材を設けています。 *「読むこと」教材の「てびき」には、その教材の作品と同一の作者・筆者による別作品や、内容や話題、テーマで関連する作品を、表紙の写真と梗概で紹介しています。 *各巻の付録にも図書紹介のページを設け、多様なテーマの図書を紹介しています。(6学年合計約540冊)
3 文字・表記・図版・資料	
①文字・活字・書体	<ul style="list-style-type: none"> *活字は文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、力強い教科書体を使用しました。また、巻末の漢字一覧で掲出している硬筆体は、書写教科書の筆者の文字を使用し、学習上の関連を図っています。
②ユニバーサルデザインフォント	<ul style="list-style-type: none"> *デジタル機器で表示した場合にも視認性が高く、読みやすいフォントを採用しています。
③表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> *表記・表現については、全学年にわたって統一したルールのもと、正しい表記の仕方・用法が身につくように学年の発達段階を考慮して提示しています。 交ぜ書きの回避：熟語の形で提出したほうが定着しやすいものは、過度な負担とならないよう考慮しながら、上位学年の漢字であっても適宜振り仮名を使用し、違和感のある交ぜ書きをできるだけ避けるように配慮しています。
④挿絵・図版・写真	<ul style="list-style-type: none"> *挿絵・図版・写真は、児童の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや児童の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習上必要なものを効果的に取り上げています。
4 特別支援教育や色覚特性などへの配慮	
①特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> *学習の展開、学習の留意点、メモやカード、ノートなどの制作物の例示は、領域を超えて統一デザインとし、学び方が定着できるように配慮しています。 *紙面の中の視線の移動や各要素の縦横の混在についても、学習者の混乱を生じさせないように、配慮しています。
②カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> *色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいように配慮したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、児童の負担感をなくす工夫をしています。 *イラストや図版は、内容が区別できるよう色づかいと色彩のバランスに配慮しています。
5 デジタル機器を使用した学習への配慮	
①「まなびリンク」(二次元コード)との連動	<ul style="list-style-type: none"> *学習時に参照できる資料等を、ウェブサイトで見られるようにしています。(例：児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等)
②タブレットPC等の活用	<ul style="list-style-type: none"> *発達段階に応じた、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。
③デジタル教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> *教科書と同内容で特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書を発行します。
6 造本・印刷・デザイン	
①造本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> *長期間の使用に耐えられるよう、堅牢な方式を採用しています。 *表紙には、抗菌加工をしています。 *紙は軽量ながら裏移りのない再生紙、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。
②上下巻2分冊構成	<ul style="list-style-type: none"> *子どもの身体の発達状況を考慮して、1冊あたりの重量が軽い上下巻2分冊の教科書にしています。半年ごとに新しい教科書に出会い、気持ちを新たに学習に取り組むことができます。
③紙面デザイン	<ul style="list-style-type: none"> *読みやすさを配慮した字詰め・行数を採用しています。イラストと文字の空きも十分とり、識別しやすいように配慮しています。 *学習内容や活動が端的にとらえられるよう、見出しなどを統一したデザインにし、各要素を適切に配置した紙面にしています。

